

令和 7 年度 緑丘学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21013

実 態	「学ぶ力」	
	これまでの 成果	課 題
	◇共通指標から、自分の考えを進んで話したり、意見が違う人とも話そうとしたりするなど、「話す」力が伸びていると実感している児童が増えている。 ◇自分で決める力を育むための「みどりっ子学習（宿題以外の自主学習）」の取組を継続していることにより、共通指標の「自分で計画を立てて勉強している」の項目に肯定的な回答をしている児童の割合が昨年度から 8.4 ポイント高くなっている。この項目に関しては、年々増加傾向にある。	◇札幌市の共通指標から、学習したことを次に生かそうとすることに対して肯定的な回答をしている児童の割合が減少している。これは直近 4 年間で減少傾向にある。 ◇解決に向けての方法などの見通しや分からない時にどう行動すればよいか考えることに課題を感じていることが分かった。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題

◇札幌市共通指標の「じぶんがひつようとされているとかなじる」の肯定的な回答の割合は、昨年度まで減少しており、課題としていた項目だった。しかし R6 年度の回答では、前年度よりも 10 ポイント以上高くなった。自分に自信をもてるような場や価値付け、自己有用感をもてるような関わりは今後も続けていく必要がある。「ひとのやくにたててうれしいとかなじることがある」においては昨年度から減少し、札幌市と比べても低いポイントになっている。他者と関わる中で、得た価値をお互いに実感する手立てが必要になる。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

学びに自分の意志をもつ子の育成

取 組	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
	◇研究副主題「つなぐ学び」の実現 →自らの学びをつなぐ 今までの学びの中から「今回はこの方法（学び）が使える」と選択し、活動を見通すことができる手立てを講じる。 →他者の学びを自らの学びにつなぐ 目的をもって他者とつながる、他者との学びを通して新たな価値を見出す手立てを講じる。 ◇札幌市教育課程編成の手引きの活用→指導と評価の一体化	◇自分で学習する内容を決める「みどりっ子学習」の推進 →HP やお便りなどでの、みどりっ子学習の紹介や啓発 →懇談会や研修、朝会を活用した、みどりっ子学習の目的の周知 ◇「何のために★誰のために」を大切に活動 →行事、学習・生活場面の様々な場で考える場を設定 ◇年 3 回実施の学校生活アンケートの実施・活用 →一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるようにするための丁寧な聞き取りや迅速な対応、共有の場の設定

〈本プログラムの実行に向けて〉

